品川区　子ども読書活動　推進計画

（令和７年度から11年度）

概要版

目的

すべての子どもたちが、読書や、本の活用等を通じて、豊かな感性を育み、実り多き人生を送る力を身につける

。

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現りょくを高め、想像りょくなどを豊かにします。子どもたちが、読書を通じて、豊かな感性を育むことは、将来の人生において、多くの困難を乗り越えていくための、大きな力になります。このことから、読書に親しむことのできる環境は、どんな境遇にある子どもたちにも、与えられるべきものと考えます。障害のある子ども、外国にルーツがある子ども、時間的・経済的に余裕のない子ども等、配慮を必要とする子どもたちに寄り添い、すべての子どもたちが、読書にしたしめる環境づくりを進めます。

また、子どもと接する大人たちが、読書活動の大切さを、あらためて見直し、図書館・学校・家庭・地域が、一体となって、読書の機会・きっかけづくりをしていくことで、子どもたちが、より本に親しむことを目指します。

。

計画の対象

子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年成立）、では、子どもを零歳から18歳と定義しています。本計画では、さらに、大学生段階までを含めて、対象としてアプローチすることにより、乳幼児期から大学生段階に至るまで、切れ目なく、読書活動を展開することを目指します。

。

計画の推進主体

本計画の主体は、品川区立図書館が中心となって、家庭、地域、保育園・幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・大学・児童センター・すまいるスクール・児童相談じょとう、子ども関連施設、さらには区内で活動する子ども関連団体と連携して推進していくものとします。

計画の体系

目的

すべての子どもたちが、読書や本の活用等を通じて、豊かな感性を育み、実り多き人生を送る力を身につける

。

策定の視点

。

本を読む子どもを増やす

子どもの多様性に対応する

デジタル社会のメリットを活かす

子どもの声を聴く

。

目標

社会の一層のデジタル化を踏まえ、子どもの読書活動を幅広く捉え、図書館・学校・家庭・地域が連携して、豊かな読書体験の機会を創出し、ウェルビーイングにつなげる。

。

ウェルビーイング

誰もが、自分らしく、それぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、社会全体が、幸せや豊かさを感じられること

段階別目標

乳幼児期

保護者等、安心できる人たちと触れ合う中で、わらべうた等を聞き、声を聴く心地よさを味わい、絵本を読み聞かせてもらって、言葉を育み、いろいろな本に親しみます。

小学生段階

読み聞かせから、ひとり読みへ、スムーズに移行し、様々な本に出合って、読書の世界を広げるとともに、本等を活用して、知りたいことを調べる力、情報を取捨選択する力を身につけます。

中学生段階

一人ひとり異なる、読書興味を追及するとともに、本や、インターネットから得た情報を活用し、社会に主体的に関わろうとする、意識・意欲を育み、そのための能力を高めます。

高校生段階

読書の幅を広げるとともに、本や、インターネットから得た知識・情報を活用して、主体的に社会へ参画し、情報を発信する側に立つべく、情報活用能力を身につけます。

大学生段階

地域の大学生世代同志がつながり、中学生・高校生ともつながって、区の子ども読書活動推進の、一翼を担うことを目指します。

保護者等、周りの大人たち

子どもたちと一緒に、読書を楽しみます。

本を読むことをためらう子どもたちも、少しの手助けで読むようになることを認識し、実際に、子どもたちを読書に導くことを目指します。

。

よりよい読書環境のために

誰もが、気軽に、読書の楽しさを味わえる環境づくりを目指します。

障害の有無に関わらず、誰でも読書にしたしめる、環境づくり

た言語で読書ができ、日本語習得の支援にもつながる、環境づくり

身近な場所で、読書につながることができる、環境づくり

計画推進のための施策

１・乳幼児期における、読書活動推進のための施策

乳幼児啓発事業、「はじめてのえほん、　よんで　よんで」

児童サービスボランティア・地域読み聞かせボランティア向け講座の実施

保育園・幼稚園等への、訪問おはなし会・来館おはなし会の実施、　　など

２・小学生段階における、読書活動推進のための施策

図書館員体験

学校等への、訪問おはなし会・ブックトークの実施

学校図書館運営サポート、　　　など

３・中学生段階における、読書活動推進のための施策

ティーンズボランティア

レッツ・リード、図書館新聞、おすすめぼんリスト等の、ＰＲぶつの作成・配布

学校での、ブックトーク・ビブリオバトル出前授業の実施、　　　など

４・高校生・大学生段階における、読書活動推進のための施策

ティーンズ書評バトルの実施

学校での、ブックトーク・ビブリオバトル出前授業の実施

高等学校、大学等との連携、　　など

５・よりよい読書環境づくりのための施策

子ども向け・大活字本、ＬＬブック、点字図書、さわる絵本、マルチメディア・ＤＡＩＳＹ図書等、バリアフリー図書や、た言語の・資料の収集

子どもの多様性に対応したアプローチ

区内の関連施設等との連携、　　　など

６・子どもの読書活動を進めるための情報発信

各種ＳＮＳの利用を含め、子どもに届く、広く、多様な情報発信

図書館ホームページの、「こどものページ」、「ＴＥＥＮｓのページ」を、魅力的、かつ使いやすいものへ更新

子どもの読書活動に関心のある、大人に向けたページの充実、　　など

。

右側の二次元コードを読み取ると、品川区立図書館のホームページにアクセスでき、

品川区・子ども読書活動・推進計画の本編をご覧いただくことができます。